

case

司書

県立喜多方高等学校

(平成26年度採用)

私は

おもしろいこと

が好き!



わたしを表すキーワード

keyword 01

5

#理想の図書館

本を読む、調べる。雑談を楽しむ。利用者が入る前より少しだけいい気分になれるような図書館を維持することが日々の目標です。

keyword 02

#好奇心

普段から興味の赴くままに本や雑誌を読み、情報をインプットしています。有用性にこだわるより、楽しむことが大事だと思います。

keyword 03

keyword 04

#積読の壁

#日日是好日

keyword 05

#観葉植物愛

略歴

H26～H27 福島県立図書館 資料情報サービス部 地域資料チーム
 H28～R元 福島県立会津工業高等学校
 R2～現在 福島県立喜多方高等学校

「ほん」と「ひと」をつなぐ架け橋に

学校図書館の運営全般を担当し、生徒・教員と協力しながら図書館をより良いものへと進化させ続ける仕事です。資料収集・整理、本の貸出・返却、レファレンス、広報等基本的な図書館業務のほか、授業対応や進路支援、図書委員会活動の指導等、学校活動を多面的に支援しています。

県職員を目指した理由

福島県は、司書を専門職として定期的に採用している珍しい自治体で、県から図書館への理解と信頼を感じたことが志望理由です。他県出身者の先輩方も多数活躍しているとの話を聞いたことも決断の後押しとなりました。



←資料の準備作業

とある一日のスケジュール

8:00

職員打ち合わせ

8:30

新聞の入れ替え
返本作業と書架整理

10:30

資料検品・書類整理
書誌データ作成、装備作業

12:00

昼休み

13:00

総合探究の生徒対応

14:10

ホームルーム利用の対応

15:00

カウンター業務
図書委員会活動

16:30

閉館作業・統計入力
終業

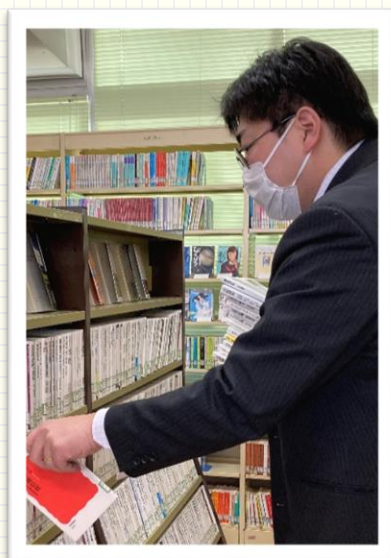
印象に残っている経験・エピソード

学校統合に伴う学校図書館の統合業務が印象深く残っています。

様々な制約の中で任せられた未知の大仕事に戸惑いましたが、関係各所と連携を密に着実に作業を進め、無事開校を迎えることができました。見た目には大きな変化はありませんが、以前よりにぎやかになった図書館の利用風景を眺める時、今でも少しだけ誇らしい気持ちになります。



福島県職員として、実現したいこと・目標としていること



図書館だけではなく、利用者を取り巻く状況が変化し続ける中、高校生は本や図書館の価値に気づきにくい状況にあるようです。司書として、読書の有用性やそれではしか得られない体験、本や図書館の持つ価値を丁寧に伝え続けていきたいと思っています。生徒の未来に、本や図書館が力添えできる下地を作ることが最大の目標です。